

巴里ひとりある記



[巴里ひとりある記_下载链接1](#)

著者:高峰秀子

出版者:新潮社

出版时间:2011-11

装帧:B6判

isbn:9784103316114

1951年、27歳、突然の渡仏。

「女優・高峰秀子」を脱ぎ捨て、パリで独り暮らした半年間に見つめたものとは？

生きる感動に溢れた幻の処女作、待望の新装版。

昭和26年、27歳、単身渡仏。「女優高峰秀子」を脱ぎ捨て、パリの半年間に求めたものとは？ 瑞々しい感性に溢れた幻の処女作が今甦る。自筆画も多数収録。

作者紹介:

高峰秀子 [タカミネヒデコ]

1924（大正13）年、北海道・函館生まれ。5歳のとき映画「母」で子役デビュー。以後、「二十四の瞳」「浮雲」「名もなく貧しく美しく」など300本を超える作品に出演。キネマ旬報主演女優賞、毎日映画コンクール女優主演賞ほか、受賞数は日本映画界最多。55歳で引退。名随筆家としても知られ、『わたしの渡世日記』（日本エッセイスト・クラブ賞受賞）など多数。2010年12月28日死去。享年86（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録: 出発

ブラッセルまで

パリについた日

マドモワゼル・ソレイユ

パリのチャーチル会

パリ祭

アッシーの教会

セーヌ河のシャンソン

パリの素顔

蚤と裸と名画

マロン・ショウとすみれの季節

アメリカかけある記

徳川夢声さんとの対談

あとがき 人生を分けた6か月一亡き母・高峰秀子に捧ぐ（斉藤明美）

・・・・・・・・（[收起](#)）

[巴里ひとりある記_ダウンロード1](#)

标签

高峰秀子

日文原版书

2017

*映画

#日本

评论

[巴里ひとりある記_ダウンロード1](#)

书评

[巴里ひとりある記_ダウンロード1](#)